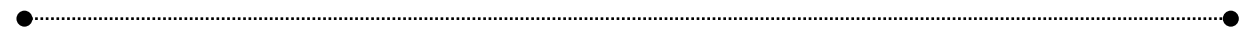


平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	五無齋保科百助の顕彰とその精神を今に活かす
事業主体 (連絡先)	五無齋保科百助研究会 (竹花 初雄 立科町山部 1508 0267 (56) 1456)
事業区分	(3) 教育文化スポーツの振興に関する事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	532,597 円 (うち支援金: 426,000 円)



事業内容

- 五無齋保科百助生誕 150 周年記念プレ企画として
- 1、五無齋先生の足跡・業績などの展示と講演会などの学習事業として、パネル作成 10 点と井出孫六氏の講演「今に生きる五無齋－信州の明治を支えた人」を行った。
 - 2、ゆかりの地を訪ねる研修事業・・・信濃教育会館の中にある信濃教育博物館に五無齋先生ゆかりの資料にあたり、加茂神社と戸隠地質化石博物館で館長より説明を受けた。
 - 3、広告宣伝事業として、チラシ・ポスター・ホームページの作成を行った。



【井出孫六氏講演に聞き入る 200 余名の聴衆】

【目標・ねらい】

- ① 五無齋先生の業績に改めて光を当て、郷土の偉人に対する理解を深める。
- ② 五無齋先生の先見性、合理性、論理性などの精神を体得し、時代を切り開くたくましい精神を養うことにつなげる。
- ③ ホームページを作ることで、町内外の住民に五無齋先生について知らせる。

事業効果

- 6 月 11 日の講演会には、町内外から 200 余人の参加を得て、井出孫六氏の講演に聞き入った。
- ① 同和地区の子どもの教育・県立図書館の設立に奔走、長野県野鉾物標本の作製と教育現場に寄贈、養蚕・機織り・染色・養蜂・林業などの殖産興業に尽力した業績について理解を深めた。
 - ② 明治の身分制度の色濃く残る時代でありながら、同和地区の子供らに教育を授けるなどの時代を読む先見性と勇気、周囲を説得する論理力・信念の強さ、また狂歌をたしなみ、自らを客観的に見て笑い飛ばすユーモア精神などに感銘を受けた。
 - ③ チラシ・ポスター・ホームページ作成で、広く事業について広報し、参加者を得た。

※自己評価 【A】

【理由】

- ・講演会は当初の目標 50 名を大きく上回り 200 人超えて会場いっぱいとなったこと。
- ・ゆかりの地を訪ねる研修では、他の行事と重なって参加者が 25 名となったが、始めてみる資料も多く、五無齋先生の八面六臂の活躍についての理解を深め、実り多い研修となったから。
- ・地元ケーブルテレビが講演会・研修ともに同行し、郷土の偉人としての五無齋さんについての資料づくりに貢献した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・現在、五無齋先生の狂歌をカルタにする活動を展開中で、カルタの普及を通して、五無齋さんに触れる機会を増やす。
- ・今年の 150 周年に向けて機運を高めたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある